

ホタル通信

<小山のホタルと自然を守る会>

HP:<http://www.oyama-hotaru.com/>

No.149-1 2016.9.1

小山のホタルと自然を

守る会 事務局

(042-797-1851)



アブラゼミの幼虫の抜け殻 片所谷戸 (8.28)

この写真は、なんだか分かりますか。セミの抜け殻です。何ゼミでしょうね。今、昼間、片所谷戸へ行くと、セミの鳴き声に攻めたてられます。人の話等聞こえない程です。

色々な鳴き声が聞こえてきます。一種類がそんなにいろいろな鳴くはずはありません。

「ジーン ジーン ジーン…」と言うのが一番多いでしょうか。「クエ クエ クエ …」と聞こえたり、「リ リ リ…」と聞こえたり、「ミーン ミーン ミーン…」と聞こえたりすることもあります。4種類以上のセミが鳴いていますね



ヤブラン 片所谷戸 (8.28)

ヤブランは綺麗に花を咲かせ、谷戸の所々を飾っています。

谷戸は、なるべく自然のままにしておき、綺麗に育っていてももらいたいのですが、

中には育ちすぎて、他の植物に害を与えてしまうものもあります。

左下の写真ようです。

そのような植物は整理しなくては、他の植物を滅ぼしてしまうことになります。

ブタクサやセイダカアワダチソウを整理する仕事



育ち過ぎだブタクサやセイダカアワダチソウ

日時：9月11日(日)午後1時30分～

(この日は午前中連合町内会の防災訓練があります。それが終わってから、午後やりましょう。)雨天(17日か18日に)延期
持ち物：剪定ばさみかかま等

<まだ暑い日が続きます。熱中症予防に注意しましょう>

先の案内では、懇親会をするつもりでしたが、午後になった関係でやりません。またの機会にしましょう。

ホシザクラの幼木の保護の仕事もします。
(事務局)

ホタル通信

初秋の片所谷戸

No. 149-2 2016. 9. 1

<小山のホタルと自然を守る会>

HP:<http://www.oyama-hotaru.com/>

Tell:042-797-1851

その前に

ホシザクラは元気の育っています。

子どもの木は、7～8年もすると、樹高は2m、樹径は10cm近くまで成長し、根を伸ばしていき、子どもの木を出します。子どもの木は、一年に最低1本は出ますから、ヤブザクラ程ではありませんが、環境さえ良ければ、どんどんと増えていくのです。

ところがこんなことがありました。

この木はもう子どもの木を何本も出していましたから、10年以上は育っていたでしょう。3号緑地の上の段です。

葉が白くなり、縮まって、丸くなる様になっていました。

専門家に聞くと、伝染病かもしれないということなので、他に伝染しないようにと思い、白くなっている葉の付いている枝を切って、燃したのです。それがこの写真です。

ホシザクラの病気



この木は、また根元から新しい芽を出していました。

ホタルの川は元気に流れています。幼虫やカワニナの遊び場に泥がたまっているので、どけてあげた方がいいですね。

池はクレソンが相当少なくなり、ドロが真ん中にたまり始めていますが、どのように整備しましょうか。カワニナと幼虫が共に遊べるように工夫しましょう。

キノコも多く生えていました。



これは何キノコでしょうか

綺麗なキノコですが、ドクツルタケでしたら、猛毒があるそうです。美味しそうなので、子どもが採って食べたら大変ですね。



これは何キノコでしょうか。

近くに栗の木がありましたので、クリタケでしたら、美味しく食べられるのですが…。

近くに、まだ、小さいキノコが3種類程生えていました。



3号緑地ですが、良く下草刈りをしてくださいっています。

ヤブザクラ、ホシザクラの育ち方のよくわかる場所です。